

シニアのひろば

「終活」から在宅医療・介護を考える

自分の老後、人生の終わりについて考えたことがありますか。まだ先のことだと思っっている人も、病气や介護、そして死はある日突然やってきます。

超高齢社会を迎え、国は「病院」から「在宅」へとという方向性を示しています。自分らしい終活をするため、在宅医療・介護について知っておくことが大切です。

また、人生の終わりに、どこで、どのように過ごしたいか、あらかじめ考えておくことも重要です。

そこで、次のとおり「終活」をテーマにした講演会を開催します。そのとき、一体何が起るのか、在宅医療や介護、看取りについて、どうすればいいのか、

● 地域包括ケアを考える講演会

今だからこそ学べる「いきかた」準備

～真の終活とは？～

自分の老後、人生の終わりについて考えたことがありますか。まだ、先のことだと思っっている人も、病气や介護、そして死はある日突然やってきます。
その時、一体何が起るのか、在宅医療や介護、看取りについて、どうすればいいか、現状の課題や具体的な情報を得ることで、その時に冷静に対応できる知識と力をつけます。

2018年2月4日(日) 参加費 無料 定員 350名

場所 赤羽根文化会館 文化ホール 田原市赤羽根町赤土1番地 TEL 0531-45-3939

講演会講師のご紹介
金子 稚子 氏 ライフ・ターミナル・ネットワーク代表 終活ジャーナリスト

雑誌・書籍の編集者や広告制作ディレクターとしての経験を生かし、誰もが必ずいつかは迎える「その時」のために、情報提供と心のサポートを行っている。当事者の話でありながら、単なる体験談にとどまらない終末期から臨終、さらに死後のことまでをも分析的に捉えた冷静な語り口は、各分野の専門家からも高い評価を得て、医療関係や宗教関係などの各学会や研修会で講師として登壇している。また、多死社会を前に、人々の死の現実直前に力を入れ、真の終活「すなわちアクティブ・エンディング」を提唱。多岐に渡るさまざまな情報提供とともに、自分でいきたか(生きか・逝きか)を決める必要性を訴えている。
著書に『アクティブ・エンディング～大人の「終活」新作法～』(同出書所新社)、『死後のプロデュース』(PHP新書)、『金子哲雄の妻の生き方～夫を取った300日～』(小学館文庫)、『編集制作・執筆に「親の看取り」～親が倒れてから、介護・療養・終末期のすべて～』(e-AKO宮島書社)。
夫は、2012年10月に他界した流産ジャーナリストの金子哲雄氏。

開場	13:00～
開会挨拶 山下 政良(田原市長)	13:30～
報告 田原市の地域包括ケア	
講演 (講師)金子 稚子氏 <small>ライフ・ターミナル・ネットワーク代表 終活ジャーナリスト</small>	
閉会挨拶 田原市医師会	15:20(予定)

主 催 ● 田原市・田原市医師会・田原市地域包括ケア推進協議会
後 援 ● 田原市歯科医師会・田原市薬剤師会・田原市介護保険関係事業者等連絡会

参加申込
参加を希望される方は、田原市役所 高齢福祉課に電話(0531-29-3217)にて事前に申し込みください。
(定員になり次第締切とさせていただきます。)

たはら健康マイレージ対象事業

現状の課題や具体的な情報を得ること
で、そのときに冷静に対応できる知識と
力を身に付けます。健康な今だからこそ、
学んでおきたい内容です。
ぜひ、ご参加ください。

◆ 地域包括ケアを考える講演会の開催
【テーマ】今だからこそ学べる『いきかた』
準備～真の終活とは？～
【講師】金子 稚子氏(終活ジャーナリスト)
【日時】2月4日(日) 午後1時30分～3時20分

【場所】 赤羽根文化会館 文化ホール
【申込】 1月26日(金) までに電話・FAXにて (FAXの場合は、住所・氏名・電話番号を明記)

【その他】 入場料無料、手話通訳あり

▼ 高齢福祉課

☎ 23・3217 FAX 23・3545

「東三河広域連合からお知らせ」 「介護保険統合に関するQ&A」

【質問】

介護保険料の確定時期はいつごろになるの？

【回答】

平成30年度からの介護保険料については、広域連合で算定を行っていきます。しかし、介護報酬の改定など、国の示す制度改正が大きく関わってくることから、確定は平成30年2月ごろを予定しています。詳細については、広域連合HPへの掲載や平成30年3月に新しい被保険者証をお届けする際に、お知らせを同封する予定です。

▼ 東三河広域連合介護保険準備室

☎ (0532)26-8460